

2022年度水辺の自然再生共同WEBシンポジウム

激変した水辺の原風景

- 今なすべき事は？

アメリカザリガニ等侵略的外来種対策と
世界農業遺産「大崎耕土」の推進



よみがえったタガイ(下)とゼニタナゴ(上)
いずれもアメリカザリガニ防除ため池
タガイ:2021年6月12日(撮影高橋)
ゼニタナゴ:2021年10月10日(撮影秦)

2022年10月23日(日)~11月13日(日)

主催：水辺の自然再生共同シンポジウム実行委員会

(NPO法人シナイモツゴ郷の会、旧品井沼周辺ため池群自然再生協議会、
ナマズのがっこう、全国ブラックバス防除市民ネットワーク)

後援：大崎市、大崎市教育委員会、JA新みやぎ、TOYOTIREグループ環境保護基金

企画責任団体：NPO法人シナイモツゴ郷の会

大崎耕土
世界農業遺産



OSAKI
KOUDO

GLOBALLY IMPORTANT
AGRI-CULTURAL
HERITAGE SYSTEMS

◀ 問い合わせ先：シナイモツゴ郷の会 MAIL:yy0910*ktj.biglobe.ne.jp TEL：090-4043-3692 ▶

大崎耕土
世界農業遺産



**OSAKI
KOUDO**

GLOBALLY IMPORTANT
AGRICULTURAL
HERITAGE SYSTEMS